

シナイモツゴを保全する シナイモツゴ郷の米



かしまだいシナイモツゴ
郷の米つくり手の会

吉田千代志

シナイモツゴ郷の米とは



シナイモツゴの棲むため池のきれいな水を使い、減農薬・減化学肥料で栽培した安全・安心・美味しいお米です。NPO法人シナイモツゴ郷の会から現地確認調査に基づいた認証を受けています。

ブラックバス退治を継続実施、里山から一掃

NPOシナイモツゴ郷の会と連携

ため池のブラックバスを池干しで完全駆除。2007～2017年に地域ぐるみで毎年実施、里山のため池と周辺の小川からブラックバスを一掃しました。



アメリカザリガニ駆除を開始

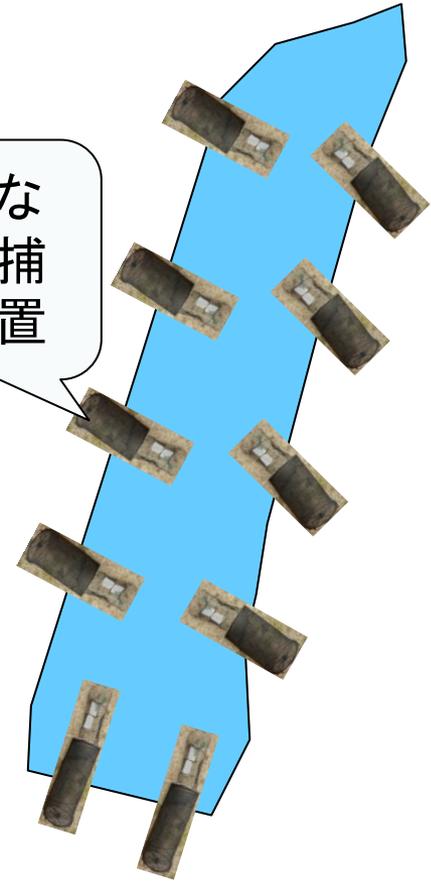
NPOシナイモツゴ郷の会と連携

だれでもできる連続捕獲装置を使い
週1回の作業でアメリカザリガニを駆除



里山の水辺で豊かな自然をとりもどすため、2020年に地域住民と共にアメリカザリガニ退治の活動を開始しました。

簡易な
連続捕
獲装置



1,000m²の中規模ため池に10基を設置し1週間に1回捕獲回収。

2021年

5月の捕獲個体は19~41mmの大~小型だったが、8~10月には18~33mmに小型化した。

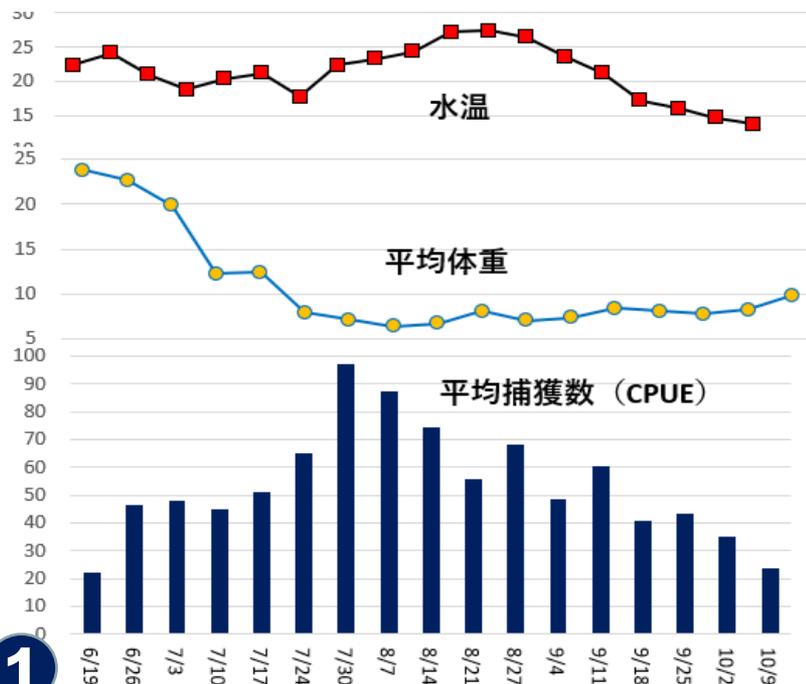
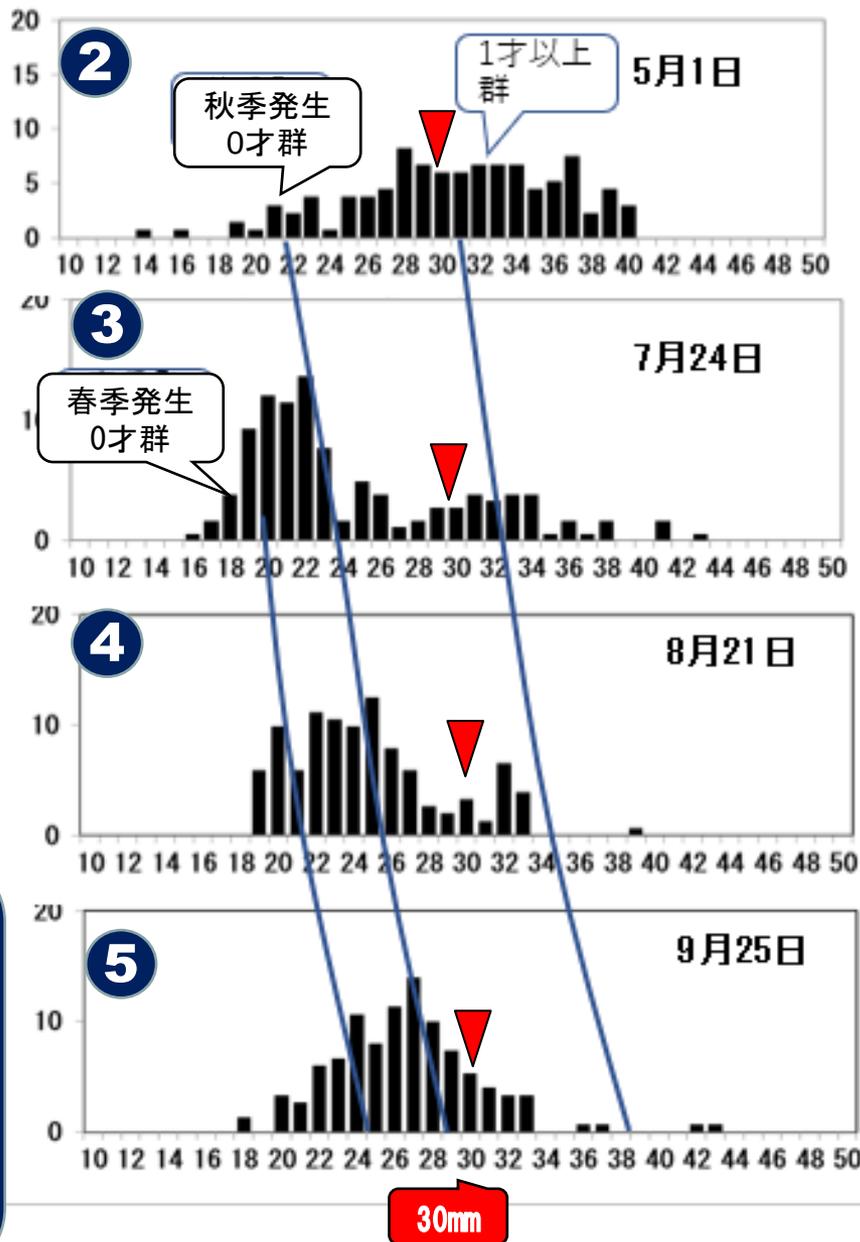


図 中規模ため池の捕獲数、平均体重、水温

1

設置後4~5回の捕獲により大型個体が激減した。8月からの産卵前に大型個体を激減させることが可能。大型個体が減少すると小型個体を大量捕獲できるが、一掃は困難。他の捕獲方法、人工水草等を併用する必要がある。

2021年



里親小学校児童による放流会を毎年実施



2015年

宮城県内4小学校の里親たちが1年間育てたシナイモツゴをブラックバスを駆除したため池へ毎年放流します

。



2021年

小川の生き物観察会・モニタリング調査

大崎市内小中学生向け(NPOシナイモツゴ郷の会と共催)

大崎市生き物クラブの生き物観察会

7月31日、ブラックバスを駆除した里山のため池を水源とする大崎市の小川で開催した。大崎市古川の小学生50名と父兄および関係者など合計70名が参加した(写真①)。観察会は、これまで15年間の活動によりブラックバスを一掃したため池を水源とする小川で実施した。

今年も下記の魚類が採集され、参加者と共に豊かな自然を実感した(写真③)。久々にニホンウナギが捕獲され(写真②)、参加者を驚かせた。スナヤツメ、ギバチ、ドジョウ、ヨシノボリ、ジュズカケハゼ、ミナミメダカ、ニホンウナギ、タイリクバラタナゴ、カネヒラ、モツゴ、タモロコ、マシジミ、ヌカエビ、カワリヌマエビ、コオイムシ



小川の生き物観察会・モニタリング調査

宮城県古川黎明中学校現地研修会



シナイモツゴ郷の米水田
赤とんぼ調査結果
調査：NPOシナイモツゴ郷の会

シナイモツゴ郷の米水田で
アキアカネが大量に羽化

減農薬、減化学肥料栽培のシナイモツゴ郷の米水田では6月下旬～7月上旬の早朝、多数のヤゴが水田の稲によじのぼり、羽化しました（表1のA地点）。他の慣行栽培水田では羽化が全く見られない水田が多いです（表1 B～D地点）。



← シナイモツゴ郷の米水田（7月3日） ←



早朝、ヤゴから出て間もないトンボ ←



↑羽化後、羽を乾かしている ←



羽が乾いて、飛び立つ直前のアキアカネ ←

表1 各地点の羽化数 (- : No Data) ←

	6月26日	6月27日	6月29日	7月3日
鹿島台A地点	48	62	76	112
鹿島台B地点	28	-	-	-
鹿島台C地点	-	0	0	-
鹿島台D地点	-	0	0	-

令和3年シナイモツゴ郷の米通信

 食と農を見つめ直し、自然再生の為に今出来ること… <良米豊穰！会報第15号 令和3年10月15日発行>

宮城県大崎市かしまだい
シナイモツゴ郷の米

宮城県大崎市かしまだい

さと まい

シナイモツゴ郷の米通信

丁寧に栽培した美味しい「郷の米」を収穫・発送しています！

夏の天候不順や収穫前の雨などで、稲の生育も心配されましたが、お陰様で「かしまだいシナイモツゴ郷の米」はしっかりと実り、稲刈りも順調に終了令和3年産も良食味のお米が収穫出来た事に会員一同感謝しております。

郷の米は、天然記念物が生息するきれいな水を使用し減農薬・減化学肥料で栽培した、お米本来の粘り・香り・味が堪能できる、地域の想いが詰まったお米です。

発足十四年目を迎え、丁寧に収穫・乾燥を行った令和3年産「郷の米」(ひとめぼれ)は、私たちの高品質米出荷基準に加え、『大崎市世界農業遺産ブランド認証米』としても、出荷・提供させて頂いております。

小さな取り組みでもご理解を深めて頂いていることに心から感謝申し上げます。

本年も皆様のご愛顧どうぞ
よろしくお願いいたします。 会員一同



～米づくりを取り巻く現況～

郷の米が生産されている地区は中山間地であり、この恵まれた自然環境からも、お陰様で良質の農産物を栽培・提供出来る事に日頃から感謝しておりますが、やはり集落全体としても後継者・担い手の課題がある現状です。

郷の米の栽培出荷にあたり、これまでも多くの関係機関や地域の協力者・支援者皆様に支えられてきました。高品質米の生産基準はもとより、東日本大震災後には独自に土壌・米の放射能検査を行うなど、安全・安心を念頭にした米づくりを心掛けております。

また、天然記念物が生息する地区として、環境保全活動にも継続的に取り組みながら、今後も丁寧な米づくりを続けて参りますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

シナイモツゴ郷の米は、天然記念物シナイモツゴの愛護に努め、田圃の自然再生と循環型農業に取り組むお米です。



令和3年 シナイモツゴ郷の米通信

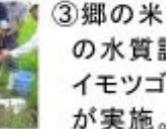
シナイモツゴ郷の米の取り組み



①天然記念物シナイモツゴがすむ「ため池」の草刈り・池干し・補修作業など、環境保全活動に取り組んでいます。



②小学校の児童によるシナイモツゴの放流会を毎年開催。



③郷の米で利用する農業用水の水質調査を、NPO法人シナイモツゴ郷の会(さとのかい)が実施。(年2回)



④減農薬・減化学肥料で栽培した「環境保全米ひとめぼれ」。後は刈り取りを待つばかり！



⑤収穫後、丁寧に乾燥・調製します。

令和3年産新米のご注文は、お電話・FAX・Eメールでも承ります。

郷の米実績報告

- ◇農薬・化学肥料節減栽培米(農林水産省ガイドライン)
- ◇出荷米検査で全量1等米(減農薬・減化学肥料米ひとめぼれ)
- ◇玄米出荷は色彩選別機を使用
- ◆大崎市「世界農業遺産」ブランド認証米(令和元年度～)
- ◆大崎市「こだわり農産物」認証米(平成23～30年度)
- ◆大崎市自然共生三志米 ◆大崎市「ささ結」ブランド認証米(平成27～30年度)
- ☆大崎市民病院食用米(平成21年度) ☆大崎市内学校給食用米(平成23・26・29年度～)

●つくる人・食べる人・みんなの力で地域の環境と農業を守り続けるために！

■お申し込み・お問い合わせは「かしまだいシナイモツゴ郷の米つくり手の会」事務局 今野まで

〒989-4104 宮城県大崎市鹿島台広長字中道西38

TEL&fax/ 050-1531-3774 e-mail/ bantam41@gmail.com



自然環境イベントなどの様子



大崎市の広報大臣「バタ崎さん」も稲刈りに応援！



子ども達の生きもの観察会

郷の米が栽培されている地域は自然環境に恵まれ、毎年、地元大崎市が主催する「おおさき生きものクラブ」には多くの子ども達が参加します。

自然の素晴らしさや、お米の栽培方法を知ってもらう事は、私たちにとっても大きな励みとなります。

これからもしっかりと米づくりを心がけ、今後も安全で安心な「シナイモツゴ郷の米」生産に取り組めます！

シナイモツゴ郷の米「7つの約束」

1. 環境保全米(減農薬・減化学肥料)での栽培。
2. 「NPO法人シナイモツゴ郷の会」の認証制度で認められた農業用水の使用。
3. 検査基準は1等米品質。
4. 玄米での販売は、色彩選別してお届けします。
5. 「つくり手の会」から、産地直送・産地販売。
6. 環境保全活動を継続的に行っている。
7. 地域を守り続ける強い信念。